

子どもの一人一人の生命や個性を大切にしたい教育

地域や家庭の教育力の回復を

学校教育は、行政がその責任を担い、学校ができるだけ創意工夫を発揮することにより、義務教育の目的を達成できると思

います。
少子化の進行と家族や地域の形態の変化、高度情報化の進展など教育環境を取り巻く状況は急激に変貌しています。そのよ



町民方のいきいきとした生活を目指し、お子様からご老人までの生涯スポーツの振興について

町民がいきいき健康で健やかに暮らすためには、何が必要でしょうか。病気やケガを治療するための医療施設の充実も必要です。しかし、病気になるに介護を必要としないほうが一番ではないでしょうか。昔から「病は氣から。」と申しますが、私は「病や介護は氣と体から。」だと思えます。氣持と体力が充実することにより病気や介護の予防となり、健康で健やかな暮らしができるのではないのでしょうか。そのためにお子様からご老人までの生涯スポーツの振興が必要であると考えています。

域に育てられるべきであると思

学校裁量の拡大

地域と学校また家庭と学校とのつながりを大切にし、子どもや親のさまざまなニーズに対し弾力的な対応ができるシステムを築く必要があると思います。またそれに加え、特色ある教育や学校づくりを進めるためには、次世代に対応した教育体制の実現に結びつく学校予算や教育課程編成などにおける学校裁量の拡大が必要であると考えて

学校評議員制の導入

開かれた学校づくりを推進す

生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義を有していると考えています。

例えば、いろんな人とスポーツをすることで高齢化及び人口の流失などで過疎化が進み寂しく成りかかった吉野に新たな地域コミュニティができ、多世代間の交流も広まり新たな語らいの場ができます。また、スポーツをすることで町民の健康増進につながり、病気の無い暮らし、それが町民のいきいきとした暮らしにつながるのではないのでしょうか。



るため、学校と地域を結び、学校、地域、保護者が一体感をもつための重要な施策として広く実施されている学校評議員制の導入が必要です。

学校の考え方や取り組みを地域の人々と話し合い、情報や課題を共有し合い相互理解を深め、地域に支えられる学校づくりを考えていきます。また、地域には、学校教育に協力したいと思う保護者、退職者、大学生、ボランティアなどさまざまな隠れた、優れた人材が存在していると思えます。登下校をはじめとする安全性への協力、特別支援を必要とする子どもへのサポート、国際理解教育への支援等、学校が保護者や地域住民の活用を積極的に推し進めることが重要であると思えます。

少人数学級の導入

つぎに、現代の学校現場は、いじめや不登校、学級崩壊など早急に解決すべき教育課題に加え、安全管理の面からの学校施設のあり方や管理運営体制など

町民皆スポーツの推進

住民の誰もが、いつでも、どこでも、それぞれの年齢・体力に応じて、スポーツに親しみ、健康で快適な生活と心のふれあいを深め、スポーツの大衆化、ファミリースポーツの普及充実と参加しやすく楽しめる地域スポーツ活動のため吉野スポーツクラブの住民主導運営化への更なる支援が必要です。また、体育協会及びスポーツ少年団などの連携をより強化し、各種スポーツ情報を収集できる情報交換会の開催を提案します。

スポーツ団体の育成

地域スポーツ活動の振興を図るため、体育協会及びスポーツ少年団などの地域の団体やグループなどの自主的な活動を育成すると共に、各種スポーツ団体の活動助成などの支援が急務です。

指導者の育成

スポーツの普及や住民の体力づくりの中心的、指導的な役割

が厳しく問われています。こうしたなか、教職員の個性や特技をいかしながら変化の時代を主体的に生きる力を持った子どもたちを、しっかりと育てていくためには、少人数学級の導入が必要と感じています。



を担う体育指導委員などの各種目における指導者の資質を今以上に向上させると共に、新たな人材を発掘にも努め、各種教室・研修会などを開催し、より多くの指導者の確保と育成が重要と考えます。



吉野郡子ども会育成者連絡協議会 少年少女野球大会

スポーツ施設の設備充実

吉野運動公園のグラウンド・テニスコート・体育館・野球場をはじめ町内各地でのスポーツ施設などが快適に利用できるように現在の管理運営制度を抜本的に見直し、計画的な維持管理を行い多様化するスポーツ活動に対処するため、関連備品の充実と年次的な施設の改修整備を行っていく必要があると考え